



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

定時株主総会開催予定日 2019年6月26日

配当支払開始予定日

2019年6月5日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	24,915	3.7	1,814	21.1	1,709	9.2	1,201	36.9
2018年3月期	24,031	7.7	1,497	8.3	1,565	37.2	877	4.8

(注) 包括利益 2019年3月期 523百万円 (75.7%) 2018年3月期 2,156百万円 (80.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	75.54	74.99	5.0	5.6	7.3
2018年3月期	55.20	54.83	3.8	5.2	6.2

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	30,161	24,383	80.4	1,524.92
2018年3月期	30,890	24,157	77.8	1,511.85

(参考) 自己資本 2019年3月期 24,250百万円 2018年3月期 24,035百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,468	1,519	844	4,318
2018年3月期	1,936	772	592	5,268

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		8.00		12.00	20.00	317	36.2	1.4
2019年3月期		8.00		15.00	23.00	365	30.4	1.5
2020年3月期(予想)		10.00		16.00	26.00		30.0	

(注) 2018年3月期期末配当金の内訳 創立95周年記念配当 2円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,906	6.0	905	15.3	854	9.3	569	4.3	35.84
通期	26,190	5.1	2,056	13.4	1,941	13.6	1,377	14.7	86.61

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	16,114,089 株	2018年3月期	16,114,089 株
期末自己株式数	2019年3月期	211,210 株	2018年3月期	215,792 株
期中平均株式数	2019年3月期	15,901,943 株	2018年3月期	15,895,017 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,267	3.3	467	1.8	893	7.0	757	6.6
2018年3月期	15,741	5.0	476	9.6	960	28.6	810	62.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	47.64	47.30
2018年3月期	51.00	50.66

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	25,560	21,285	82.8	1,331.02
2018年3月期	26,662	21,309	79.5	1,333.99

(参考) 自己資本 2019年3月期 21,167百万円 2018年3月期 21,208百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(全般の状況)

当連結会計年度の世界経済は、米国の堅調な経済成長に牽引され、全体としては緩やかな成長を維持しましたが、米中を中心とした貿易摩擦の動向、英国のEU離脱交渉の停滞といった不安定な国際情勢など、世界経済の不確実性の高まりもあり、先行き不透明な状況が続きました。国内経済については、各地で相次いで発生した自然災害の影響が一時的にあったものの、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しなどを背景に、緩やかながらも回復基調で推移しました。

当歯科業界におきましては、歯科医療のデジタル化の進展により、CAD/CAM関連市場は世界規模で成長を続けているものの、市場環境の変化に伴って業界全体における競争が激化するなど、当社を取り巻く事業環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは2018年4月から新たな第三次中期経営計画をスタートさせ、国内事業の基盤強化と海外事業の拡大を基本戦略として、今後の成長に向けた積極的な施策を推進してまいりました。具体的には、欧州市場での売上拡大を図るため、生産能力・生産効率の向上を目的にドイツのMerz Dental GmbHが新工場を建設しました。また、ブラジル市場において現地販売子会社を通じた本格的な販売活動を開始したほか、インド市場で販売体制の拡充を図るなど、成長が見込める新興国市場での販売基盤の強化に向けた取組みを展開してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、24,915百万円と過去最高を更新し、前年同期比884百万円(3.7%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により、1,814百万円と前年同期比316百万円(21.1%)の増益となりました。

経常利益は、為替の影響などにより増益幅は縮小したものの、1,709百万円と前年同期比143百万円(9.2%)の増益となりました。

税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する当期純利益は、1,201百万円と前年同期比323百万円(36.9%)の増益となり、過去最高益を更新いたしました。

(デンタル関連事業)

国内におきましては、歯科用象牙質接着材「松風ビューティボンドユニバーサル」や歯科用多目的超音波治療器「エアフロー プロフィラキス マスター」を市場投入しました。これらの新製品に加え、CAD/CAM関連製品などの機械器具類が好調に推移しましたが、厳しい市場環境の影響により、人工歯類をはじめ主力製品群が苦戦を強いられ、前年同期比減収となりました。

海外におきましては、米国を中心に診療系材料の化工品類が売上に貢献するとともに、中国を含むアジア地域で人工歯類が好調に推移するなど、海外の各地域で売上が増加し、前年同期比増収となりました。

これらの結果、デンタル関連事業の売上高は、22,446百万円と前年同期比999百万円(4.7%)の増収となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は1,797百万円と前年同期比387百万円(27.5%)の増益となりました。

(ネイル関連事業)

ネイル業界におきましては、市場は緩やかながらも成長を続けておりますが、ユーザーの低価格志向が根強く、業界全体での価格競争は厳しい状況が続いております。

国内におきましては、「L・E・D GEL Presto」をはじめ主力のジェルネイル製品が売上に寄与するとともに、ユーザーのニーズに対応するため、ジェルネイル製品の小容量化・低価格化に取り組んだ結果、前年同期比増収となりました。

海外におきましては、米国においてSNSの活用や著名なネイリストを起用したプロモーション活動により売上は堅調に推移しましたが、台湾において競合他社との競争が激化し、前年同期比減収となりました。

これらの結果、ネイル関連事業の売上高は、2,372百万円と前年同期比113百万円(4.6%)の減収となり、利益面は経費削減に努めたものの、営業損失5百万円と前年同期比69百万円の減益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。その他の事業の売上高は、96百万円と前年同期比1百万円(1.9%)の減収となり、営業利益は16百万円と前年同期比1百万円(8.0%)の減益となりました。

(注) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、現金及び預金や時価下落による投資有価証券の減少などにより、前期末比729百万円減少し、30,161百万円となりました。

負債は長期借入金や未払法人税等の減少などにより、前期末比955百万円減少し、5,778百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末比226百万円増加し、24,383百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.4%(前期末77.8%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べ、950百万円減少し、4,318百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,936	1,468	△467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772	△1,519	△746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592	△844	△251
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	△55	△99
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	615	△950	△1,565
現金及び現金同等物の期首残高	4,652	5,268	615
現金及び現金同等物の期末残高	5,268	4,318	△950

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,468百万円のプラス(前期比467百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,709百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,519百万円のマイナス(前期比746百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,269百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、844百万円のマイナス(前期比251百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出500百万円や親会社による配当金の支払318百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、米国の財政・金融政策の動向のほか、貿易政策をめぐる対立、英国のEU離脱問題、中国経済の減速の影響など不透明な要因はあるものの、全体としては引き続き緩やかな成長が続くことが予想されます。

歯科業界におきましては、国内市場はCAD/CAM関連製品の需要増加が見込めるものの、製品のコモディティ化や低価格化は一層進展していくことが予想されます。一方、海外市場は、新興国を中心に経済成長や生活水準の向上により、歯科医療の需要拡大が期待されるものの、メーカーや流通などの業界再編が進み、企業間競争は激しさを増すものと考えております。

このような状況の中、当社グループは「創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する」という経営理念のもと、“あるべき姿”として連結売上高500億円、連結営業利益75億円の実現に向け、諸施策に対してスピード感を持って着実に実行してまいります。

次期の業績の見通しについては、次のとおりであります。

(単位：百万円・%)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	24,915	26,190	1,274	5.1
営業利益	1,814	2,056	242	13.4
経常利益	1,709	1,941	231	13.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,201	1,377	176	14.7

主な為替レート 米ドル105.00円、ユーロ125.00円、英ポンド145.00円、中国人民元16.50円

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

長期的な企業価値(株主価値)の増大と、株主のみなさまへの利益還元を目指しつつ安定した配当の維持・継続を基本方針とし、連結ベースでの配当性向30%以上を目標にしておりますが、一方で、経営基盤の強化・財務体質の改善を図りながら、海外事業の拡大、新製品開発のための研究開発投資など、将来における積極的な事業展開に備えるため内部留保の充実にも配慮していく考えであります。

当期の期末配当金は、普通配当1株当たり15円とし、既に実施済みの中間配当金1株当たり8円をあわせた年間配当金は1株当たり23円となります。

次期の1株当たり年間配当金におきましては、普通配当26円を予定しており、この結果連結ベースの配当性向は30.0%となる予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際会計基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当連結会計年度 (2019年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,733	4,890
受取手形及び売掛金	3,285	3,354
有価証券	5	5
商品及び製品	3,996	4,347
仕掛品	925	911
原材料及び貯蔵品	950	949
その他	480	574
貸倒引当金	△31	△58
流動資産合計	15,345	14,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,116	8,237
減価償却累計額	△5,154	△5,377
建物及び構築物 (純額)	2,961	2,859
機械装置及び運搬具	4,003	4,021
減価償却累計額	△3,205	△3,314
機械装置及び運搬具 (純額)	798	707
土地	1,936	2,147
建設仮勘定	147	617
その他	4,021	4,019
減価償却累計額	△3,276	△3,251
その他 (純額)	745	767
有形固定資産合計	6,588	7,100
無形固定資産		
のれん	320	274
その他	959	857
無形固定資産合計	1,279	1,132
投資その他の資産		
投資有価証券	6,663	6,026
繰延税金資産	83	98
退職給付に係る資産	629	530
その他	314	311
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	7,676	6,953
固定資産合計	15,545	15,186
資産合計	30,890	30,161

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	744	669
1年内返済予定の長期借入金	500	849
未払法人税等	505	242
役員賞与引当金	43	42
その他	1,869	2,016
流動負債合計	3,663	3,820
固定負債		
長期借入金	986	125
繰延税金負債	1,229	999
退職給付に係る負債	216	222
その他	637	610
固定負債合計	3,070	1,957
負債合計	6,733	5,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	11,707	12,589
自己株式	△236	△231
株主資本合計	20,522	21,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,282	2,797
為替換算調整勘定	2	△196
退職給付に係る調整累計額	228	239
その他の包括利益累計額合計	3,513	2,841
新株予約権	101	118
非支配株主持分	19	14
純資産合計	24,157	24,383
負債純資産合計	30,890	30,161

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
売上高	24,031	24,915
売上原価	10,267	10,469
売上総利益	13,763	14,445
販売費及び一般管理費	12,266	12,631
営業利益	1,497	1,814
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	89	95
会費収入	118	124
為替差益	75	-
その他	165	153
営業外収益合計	457	382
営業外費用		
支払利息	10	8
売上割引	163	162
当社主催会費用	150	159
為替差損	-	55
その他	65	100
営業外費用合計	390	487
経常利益	1,565	1,709
特別利益		
投資有価証券売却益	23	-
特別利益合計	23	-
特別損失		
減損損失	231	-
特別損失合計	231	-
税金等調整前当期純利益	1,357	1,709
法人税、住民税及び事業税	552	530
法人税等調整額	△74	△18
法人税等合計	478	512
当期純利益	879	1,196
非支配株主に帰属する当期純利益	1	△4
親会社株主に帰属する当期純利益	877	1,201

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	879	1,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	964	△485
為替換算調整勘定	178	△199
退職給付に係る調整額	134	11
その他の包括利益合計	1,277	△672
包括利益	2,156	523
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,155	528
非支配株主に係る包括利益	1	△4

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,474	4,576	11,150	△252	19,949
当期変動額					
剰余金の配当			△317		△317
親会社株主に帰属する当期純利益			877		877
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△2	16	13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	556	15	572
当期末残高	4,474	4,576	11,707	△236	20,522

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	2,318	△176	93	2,235	92	18	22,296
当期変動額							
剰余金の配当							△317
親会社株主に帰属する当期純利益							877
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	964	179	134	1,277	8	1	1,288
当期変動額合計	964	179	134	1,277	8	1	1,860
当期末残高	3,282	2	228	3,513	101	19	24,157

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,474	4,576	11,707	△236	20,522
当期変動額					
剰余金の配当			△318		△318
親会社株主に帰属する当期純利益			1,201		1,201
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	5	4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	882	4	887
当期末残高	4,474	4,576	12,589	△231	21,409

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	3,282	2	228	3,513	101	19	24,157
当期変動額							
剰余金の配当							△318
親会社株主に帰属する当期純利益							1,201
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△485	△199	11	△672	16	△4	△660
当期変動額合計	△485	△199	11	△672	16	△4	226
当期末残高	2,797	△196	239	2,841	118	14	24,383

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4 月 1 日 至 2018年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,357	1,709
減価償却費	920	862
減損損失	231	-
のれん償却額	54	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	266	139
受取利息及び受取配当金	△98	△105
支払利息	10	8
為替差損益 (△は益)	△77	20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△122	△89
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△430	△422
仕入債務の増減額 (△は減少)	109	△44
その他	74	48
小計	2,215	2,185
利息及び配当金の受取額	97	105
利息の支払額	△7	△8
法人税等の支払額	△368	△813
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,936	1,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△433	△533
定期預金の払戻による収入	312	425
有価証券の取得による支出	△5	△5
有価証券の償還による収入	5	5
有形固定資産の取得による支出	△658	△1,269
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△46	△70
投資有価証券の取得による支出	-	△60
投資有価証券の売却による収入	48	-
貸付けによる支出	△17	△24
貸付金の回収による収入	9	12
その他	12	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772	△1,519
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△31	△25
長期借入れによる収入	262	-
長期借入金の返済による支出	△505	△500
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△317	△318
ストックオプションの行使による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592	△844
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	615	△950
現金及び現金同等物の期首残高	4,652	5,268
現金及び現金同等物の期末残高	5,268	4,318

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)の適用に伴う変更)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」523百万円及び「固定負債」の「繰延税金負債」のうち466百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」83百万円に含めて表示し、「固定負債」の「繰延税金負債」は1,229百万円として表示しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、デンタル関連事業、ネイル関連事業及びその他の事業(工業用材料・機器の製造販売)から構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「デンタル関連事業」、「ネイル関連事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「デンタル関連事業」は、歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービスを、「ネイル関連事業」は、ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品等の製造・販売、サービス業を、「その他の事業」は、工業用材料・機器の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,446	2,485	98	24,031	—	24,031
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	6	7	△7	—
計	21,447	2,486	105	24,038	△7	24,031
セグメント利益	1,410	63	17	1,491	6	1,497
セグメント資産	22,208	1,433	123	23,765	7,125	30,890
その他の項目						
減価償却費	864	46	10	920	—	920
のれんの償却額	54	—	—	54	—	54
減損損失	231	—	—	231	—	231
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	636	72	1	710	—	710

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額6百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額7,125百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)等の資産であります。

(注) 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとののれんの未償却残高に関する情報)

	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期末残高	320	—	—	320	—	320

(注) 1. 当連結会計年度においてのれんの減損損失231百万円を計上しております。

2. のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	22,446	2,372	96	24,915	—	24,915
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	7	7	△7	—
計	22,446	2,372	104	24,923	△7	24,915
セグメント利益又は損失(△)	1,797	△5	16	1,807	6	1,814
セグメント資産	22,146	1,315	142	23,604	6,557	30,161
その他の項目						
減価償却費	792	60	9	862	—	862
のれんの償却額	31	—	—	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,314	84	3	1,403	—	1,403

(注) 1 (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2)セグメント資産の調整額6,557百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券等）等の資産であります。

(注) 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（報告セグメントごとののれんの未償却残高に関する情報）

	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期末残高	274	—	—	274	—	274

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,511.85円	1,524.92円
1株当たり当期純利益金額	55.20円	75.54円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	54.83円	74.99円

(注)1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日) (至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日) (至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	877	1,201
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	877	1,201
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,895	15,901
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	106	115
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかつ た潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	24,157	24,383
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	121	133
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	24,035	24,250
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	15,898	15,902

(重要な後発事象)

該当事項はありません。